



NEWS

2007 No.194

5月号

全国整備工場の皆様へNGP組合員200拠点がお届けするお役立ち情報

自動車整備業販促チラシ集 CD-ROM「お客様と華^{はな}したい!」キャンペーンに着手 環境にやさしい自動車整備・修理市場の ビジネス拡大を支援いたします

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は、自動車整備業の皆さんのお客様とのコミュニケーション・チラシ集「お客様と華^{はな}したい!」キャンペーンに取り組み始めました。期間中、キャンペーンと同名の自動車整備業販促チラシ集CD-ROMを提供します。積極的なエコカーライフの提案で、お客様を呼び込んでビジネスチャンスを広げていただきたいとNGPは考えています。

キャンペーンは5月15日にスタート、今年8月末まで展開します。きれいなチラシを簡単、安価に作る事ができる販促チラシ集CD-ROMをメイン商品とした「お客様と華^{はな}したい!セット」を特別割引価格で提供します。

CD-ROMにはリサイクル部品を使った環境整備や車検などを呼び込むための販促チラシが簡単に作製できる素材が入っています。来店客への手渡しや、イベントのDMやポスティングなど、自動車整備業の皆さんの営業に活用できるチラシ集ツールです。

われわれNGP協同組合の組合員にも、整備業を兼業している組合員がいます。整備兼業組合員は、環境委員会の中のプロジェクトとして自動車情報部会を設置し、自動車整備業の目線で、カーアフターマーケットの活性化や自動車リサイクル部品をすみずみに浸透させる手法について検討しています。

NGP協同組合にとって、最大の課題は自動車リサイクル部品を積極的に修理で使ってもらうことです。それには、修理の主役である自動車整備業の皆さんに認知されなければなりません。自動車情報部会のプロジェクトは、整備業の皆さんに認知をいただくためにどうしたらよいかを考えました。

ぜひ使っていただきたい販促チラシ集ができました。お客様へのさまざまなサービス提案が簡単に行えるチラシ素材がCD-ROMに収まっています。NGP協同組合は自動車整備業のサポートを本気になって考え続けます



その結論のひとつが、不足しがちなお客様とのコミュニケーションを積極的にとってもらうために開発した今回のツールです。ただしこれは第1弾の提案にすぎません。

NGP協同組合は「リサイクル部品の販売促進を自動車整備業の皆さんと一体になって進めたい。整備業の皆さんにプラスとなるノウハウを提供し、お客様の確保につなげてもらう。今回のキャンペーンは始

まりであって、今後継続してさまざまな提案を行いたい」(青木勝幸理事長)と考えています。

6月中には、自動車リサイクル部品を店頭展示できる展示スタンドを発売する予定です。今回のキャンペーンは8月いっぱいになりますが、組合員のさまざまなアイデアを持ち寄り、多様なお役立ち提案を行っていきます。ご期待下さい。

販促チラシ18種類、囲い込み用ハガキも含めて22種類の素材が1枚のCDに

チラシ作戦強化は販促の基本、お客の呼び込みはパソコン操作でデザインを選ぶだけ

～詳細はNGP組合員にお問い合わせを～



リサイクル部品を使った環境整備を呼びかけるもよし、車検の充実メニューで誘うもよし。「お客さまと華したい!」CD-ROMにはお客さまと縁を結びきっかけが入っています



自動車整備業販促チラシ集CD-ROMには、エコカーライフを提案するきれいなデザインのカラーチラシが18種類。車検のご案内、定期点検のご案内など、お客さまを囲い込むためのハガキ印刷素材が4種類。合計22種類の素材が1枚のCD-ROMに収められています。

チラシ制作は極めて簡単にできます。パソコンにCD-ROMをセットし、必要なデザインを選択。チラシの下欄スペースに自社名、住所、電話番号等を書き込んで、カラープリンタで印刷すればできあがりです。

同じ車検のチラシでも、フルサービスの車検用チラシもあれば、朝だして夕方受け取るなどのスピード車検用チラシなど、さまざまなサービスメニューを念頭において、使っていただけるデザインのチラシを用意しています。さらに小キズ修理のチラシもありますし、総合サービスを提供していることをお客さまに訴える内容まで、といった具合です。

このCD-ROMに2種類のリサイクル部品推進ポスター、リサイクル部品推進パンフレット50枚をつけて「お客さまと華したい!セット」として販売します。セットの定価は税込み3675円ですが、8月31日までのキャンペーン期間中は、①お手持ちの廃車を1台以上買い取らせていただくか、②NGP協同組合のリサイクル部品を月間10万円以上お買い上げいただいた方には、このセットを特

別割引価格で提供します。詳細はNGP組合員の各社にご相談ください。

たかがチラシと侮ってはいけません。チラシを撒くことは、営業活動の基本になります。少子高齢化で、自動車販売も減少、それにともない車検整備や修理需要も減少傾向にあります。そうした中で堅調に売上を伸ばしている自動車整備業者さんの多くは、積極的なキャンペーンを行って、自社が提供するサービスをユーザーに訴えています。

チラシといいますが、DMや新聞折り込みがあります。配布法はそれだけではありません。ご近所のレストランのレジやガソリンスタンド、公民館など人が集まる場所においてもらう「テイクワン」という方法や、イベントやセミナーに参加し配る方法もあります。もちろん新しいサービスを始めたときなど

〈リサイクル部品展示用スタンド〉

自動車リサイクル部品をユーザーの方に使ってもらうためには、実物がどんなものかを見て、触って知ってもらうことが早道です。そのために開発したのが、リサイクル部品展示用スタンドです。6月には試作品より軽量化し、使い勝手を良くしたものが発売できる予定です。ドアパネルやサスペンション、パワーステアリングなどをフックにかけて展示し、お客さまからの相談や商談を進める際に、役立ちます。また、リサイクル部品を展示していることで、環境問題を考えた整備・修理を行っている自動車整備業者であることをアピールでき、ユーザーからの好感度アップにもつながります

は来店されたお客さまにチラシを手渡しし、商品提案のきっかけを作ることも大切です。

また従業員の士気を高めるためには、各家庭やマンションを訪問し、郵便ポストに投げ込むポストイングは効果があるようです。車検の顧客の獲得などでは方面別に担当者を分け、こまめなポストイングをすることで、顧客の囲い込みに成功したなどということは良く聞く話です。

リサイクル部品の利用などは、自動車リサイクル法の施行後、関心を持っているユーザーは増えているのですが、「よく分からない」というユーザーも多いのが実態です。そういう時にこのCDに収められた販促チラシを使って、リサイクル部品のサービス提供をしているお店であることをお客さまに告知していただくと、効果的です。チラシを使ったキャンペーンを行うことで、エコ整備に取り組んでいる整備業者だということがユーザーの中にも広がり、信頼を得られます。

そうした一つひとつの活動が、お客さまとのコミュニケーションを生み、明日の需要につながるのだと、NGP協同組合は考えています。



近日発売予定

NGP協同組合・自動車情報部会 中里明光部会長（エコブリッジ社長）に聞く

整備業者さんとwin-winの関係を作りたい

～第1弾はリピーターを増やしてもらおうコミュニケーションツールです～



中里明光自動車情報部会長

一版促チラシ集CD-ROMを製作した目的を教えてください

「チラシはお客さまとのコミュニケーションツールです。車検・点検などの既存サービスでのリピーター客の確保、あるいは新サービスの実施にともなう新規客の獲得に使っていただけるベースのチラシを1枚のCDに収めています。使っていただいて自動車整備業のビジネス拡大につなげてもらいたいと考えています」

一リサイクル部品との関係は

「修理などの際にリサイクル部品の活用ももっと図ってほしいと考えています。そのときに自動車整備業の皆さんから選ばれるNGPになりたいということも、CD-ROMを製作した狙いになります。事業支援などと言ったら大げさですが、自動車整備業の皆さんの視点に立って何か役立つ手法を考え、NGP協同組合として提供して行きたいと考えています。リサイクル部品のディスプレイ機材も近く提供できます」

一自動車情報部会のメンバーは整備業者も兼業している組合員だと考えています

「私のほかにエコテクノ（広島県北広島町）の砂原正則社長、栃木パーツ（栃木県佐野市）の三枝透社長で取り組んでいます。いずれも整備工場を営んでいる組合員です。組合組織としては、リサイクル部品の利用拡大などを検討している環境委員会の中のプロジェクトになります。自動車整備業という視点でリサイクル部品の利用拡大を図るための施策を考えています」

一自社の体験を踏まえて、自動車整備業の弱点はどこにあると思っていますか

「お客様を呼び込むことがうまくできていない整備業者さんが多いように思っています。自社がどのようなサービスを提供しているのかといったことを積極的にPRすれば、入庫の促進やお客様を呼び込むことができます。そのためのチラシを作るツールを提供しようと考えました」

一CD-ROMはNGP組合員にとっても整備業者さんとのコミュニケーションツールになるようです

「自動車整備業の皆さんにリサイクル部品のメリットを知ってもらい、エンドユーザーに情報発信してもらえば、利用者は増えてくるのではないのでしょうか。整備業者さんにとってもリサイクル部品を使うことでのメリットがありますし、お客様にも喜んでもらうことができます。そのためにNGP組合員と整備業者さんとの絆を太くしたいと考えています。そのためのキャンペーンを8月末まで展開していきます」

《 ニュース 》

NEWS 《 》

第14回基礎研修会を実施 終了式前日に全員が合格

NGP協同組合は4月7～10日の4日間、東京都江東区夢の島のBumB東京スポーツ文化館で第14回基礎研修会を実施しました。基礎研修会は組合員各社の若手従業員を対象にNGPマンとしての基礎訓練を行うもので、126人が参加

し集団訓練や挨拶訓練などに取り組みました。

青木勝幸理事長は「NGPの仲間として全国一律、同じ品質基準でリサイクル部品を取り扱っています。これを確実に行うためには、心をひとつにすることが大事です。」などと、参加

者を励ましていました。その甲斐があっただけで、今回の基礎研修は終了式前日に全員が合格、その日の夕食では参加者全員がほっとした表情を見せていました。

「大きな声での挨拶、返事をする。周りの人が声を出していなくても、かまわず大きな声を出します。お客様第一10ヶ条、NGPマン心得5ヶ条、生産管理者心得5ヶ条を行動の規範とし、判断の礎にします」（久保田オートパーツ・池田済さん）。

「お客様への感謝の気持ちをいつも忘れず、部品の一点一点に愛情を込め生産することを誓います。NGPマンとしての誇りを持って、社員の一員としていかなる場合においてもリーダーシップを発揮し行動することを誓います」（佐竹自動車部品・近藤増基さん）などと、研修を通じて参加者にNGPマンとしてのしっかりとした自覚が芽生えてきたようです。



日没まで続く試験。繰り返しチャレンジし、合格すると安心感、達成感、一体感が同時にこみ上げる



大きな声を出し、気持ちを込めて、全員で同じことに取り組むことで一体感が生まれる

NGP北信越リサイクル協同組合、リサイクル工場をお披露目 使用済自動車を一貫処理し、競争力を強化

NGP北信越リサイクル協同組合が富山県黒部市に建設したシュレッダーを備えたリサイクル工場の竣工祝賀会が4月26日に開かれました。経済産業省の中石斉孝自動車リサイクル室長、地元黒部市の堀内康男市長をはじめとした来賓、関係者を含め150人が祝賀会に出席し、NGP北信越が構築した使用済自動車の一貫処理体制を祝しました。

廃車ガラを1時間に35トンのシュレッディ



本格稼働を始めたリサイクル工場、効率的なリサイクル実現で高い期待が寄せられている

ング処理できる工場は、昨年11月からテスト稼働を始め、今年2月から本格稼働しています。

自動車リサイクル法の施行に前後して、シュレッダーを持つ大手鉄資源事業者が、使用済車を直接市場から回収し、解体する動きを強めてきたことに対抗するため、NGP協同組合の北陸支部のメンバーを中心にNGP北信越リサイクル協同組合を設立し、リサイクル工場を運営することになりました。解体業者が力を合わせてシュレッダー事業に取り組むことに「まさに解体業のイノベーション」（経産省・中石室長）などとした賞賛の言葉が寄せられています。

また、祝賀会で乾杯の音頭をとった青木勝幸NGP協同組合理事長は「苦労はあるだろうが、解体車を積極的に集めて一貫処理して、わが業界が環境に貢献していることをアピールしてもらいたい」と、リサイクル工場への熱い期待を表しました。



NGP北信越リサイクル協同組合 リサイクル工場竣工祝賀会の最後に同工場の運営にあたる石田卓哉工場長以下スタッフ全員が登壇、会場に紹介された



堀川健志
NGP北信越リサイクル協同組合代表理事の話

「新工場は、組合員の仲間たちが効率よく多くのリサイクル部品を生産、流通できるようにするための一助として建設しました。一貫処理体制を構築したことで使用済自動車の収集力でもリードできると考えています。不純物が極力少ない状態で廃車ガラを回収し、効率的な資源リサイクルを進めます。これらのために廃車ガラの絶対量を確保したいと考えていますので、他支部のNGP組合員の皆様もご協力をよろしく願いいたします」

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
北海道	有限会社まるふく八田商会	会社代表	代表取締役 八田 良一	19年4月3日
北関東	株式会社共伸商会	住所表示	新潟県新潟市北区樋ノ入1389-3 (行政区設置により「新潟市」→「新潟市北区」)	19年4月1日
	エコリサイクル共伸 生産工場	住所表示	新潟県新潟市北区島見町3268-10 (行政区設置により「新潟市」→「新潟市北区」)	19年4月1日
	有限会社黒埼部品	住所表示	新潟県新潟市西区木場1634番地1 (行政区設置により「新潟市」→「新潟市西区」)	19年4月1日
	リ・パーツ株式会社 坂井自動車	住所表示	新潟県新潟市秋葉区新保3513番地 (行政区設置により「新潟市」→「新潟市秋葉区」)	19年4月1日
南関東	株式会社マルトシ青木	住所表示	静岡県藤枝市横内2250番地 (番地変更)	19年4月6日
	株式会社マルトシ青木 浜松営業所	住所表示	静岡県浜松市南区石原町587-1 (行政区設置により「浜松市」→「浜松市南区」)	19年4月1日
	株式会社コーエイ	住所表示	静岡県浜松市東区和田町868-1 (行政区設置により「浜松市」→「浜松市東区」)	19年4月1日
東海	株式会社ハセ川自動車 長野営業所	電話	0269-24-7124	19年4月16日

訃報

4月14日、株式会社桃太郎部品(岡山県岡山市)岸本好章代表取締役のご尊父、岸本伊左美(きしもと・いさみ)様のご逝去されました。享年96歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp

(株)NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201